

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

Planned activities of ASAM in Japan

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

OEM協議会で話し合われた2017の活動テーマ

活動テーマ / Theme of Activities :

- 1) 新しい標準の活用 / making good use of new standards
- 2) 標準全体の繋がりを確認していく / Understanding systemized standards
→ 実施として : 標準を繋げていく活動を年2回
Implementation : Connection of the standard by two times per year
- 3) 標準を変えていく事への協議 / Discussion for improvement standards
→ 実施として : MDXなど、現状改善提案が出ている標準の協議。
Implementation : An already suggested standard, ASAM MDX
- 4) 新しいメンバーの招致 / Invitation for new members
Tier-1や日本のツールベンダーなど
The target is Tier-1 and tool vendor in Japan.

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

ひととくるまのテクノロジー展 2017

- ▶ 2017年も引き続きブース出展します。
- ▶ 2017年5月24日から26日
出展者：Thomsen, Thomasと庄井美章
- ▶ ASAMの標準化プロジェクト、特に日本でのプロジェクトの展示を行います。
- ▶ ASAMに関する質問、相談、打ち合わせ希望有りましたら時間を取ることが出来ます。
- ▶ 昨年はASAM Global Standardization Processについての打ち合わせを行いました。
- ▶ ASAM会員でない方のファーストコンタクトも設定可能です。

yoshiaki.shoi@asam.net迄お願いします。

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

ASAM International Conference

- ▶ **Date:** 06. – 07. December 2017
- ▶ **Venue:** International Congress Center Dresden
- ▶ **Topic:** **Disruptive Technologies –
How is Autonomous Driving and Alternative Propulsion
Changing Development Methods and Processes?**

- ▶ **Content:** **Big Data Analytics** **Virtual Testing** **Deep Learning** **Infrastructure** **Cyber Security**

- ▶ **Advisory Board:**



Dr. Henning Holzmann
(A. Opel AG)



Thomas Kriegel
(AUDI AG)



Prof. Dr. Günther Prokop
(TU Dresden)



Prof. Dr. Marcus Rieker
(HORIBA Europe)



Richard Vreeland
(Cummins Inc.)

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

ASAM International Conference

- ▶ ASAMでは2年に1回International Conferenceを開いております。
- ▶ 下記コンテンツに沿ったスピーカーを募集しております。

Big Data
Analytics

Virtual Testing

Deep Learning

Infrastructure

Cyber Security

- ▶ 日時：2017年12月6日から7日
- ▶ 場所：ドレスデン、International Congress Center

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

2017年Regional Workgroupの活動

- ▶ ASAMでは、地域の活動としてWorkgroupの運営が可能です。
- ▶ 2016年から2017年にかけて2つのRegional Workgroupが日本で活動しています。
 - 1) ASAM ODS Use-Case Analysis and Problem Resolution
「ASAM ODSのユースケース分析と解決方法の決定」
 - 2) Good Use of ASAM MCD-1 XCP 1.3 and POD Access
「ASAM MCD-1 XCP 1.3とPOD Accessの活用性向上」

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

Workgroupの開始と運営

- ▶ プロジェクトの関係者が“Work Group Information Sheet”に記入してASAMに提出します。
- ▶ 記入前にメンバーでシートの記入について打ち合わせを持って頂いても構いません。その際はASAMも参加させて頂きます。ASAMで打ち合わせのためのWebExの開催も可能です。
- ▶ 提出されたシートについてASAMオフィス側で内容の確認を行います。この段階で、3社で3名以上の参加者が必要です。
- ▶ 確認後、ASAMニュースレター経由でメンバー全員への参加募集を行います。最初のシート提出段階で多くの参加者を記入頂いても構いません。
- ▶ ニュースレター後の募集期間は2週間です。
- ▶ 原則的にモデレーターの方で運営およびメンバーの招待等を行って下さい。
- ▶ ASAMもミーティングに参加させて頂きます。運営に関するリクエスト、技術的な内容の問い合わせなどを対応します。

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

Workgroupによって得られるグローバルな展開

- ▶ Workgroupは地域の活動ですが、ASAMのメンバーであれば誰でも参加可能です。
- ▶ 現在活動中または活動していたASAM標準化プロジェクトメンバーとの技術的な情報交換を行っています。
 - ・ 「ASAM ODSのユースケース分析と解決方法の決定」
ASAM ODS 6.0標準化メンバーとの情報交換が行われました。
ODS 6.0のトレーニングも計画しています。
 - ・ 「ASAM MCD-1 XCP 1.3とPOD Accessの活用性向上」
ASAM MCD-1 XCP標準化メンバーからの1.3情報の展開が行われました。
ASAM MCD-1 PODのイントロダクショントレーニングも開催されました。
- ▶ 活動によって、標準化プロジェクトメンバーへのフィードバック、ASAM標準への改善提案がメンバーの協議で行えます。

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

二輪TOOL標準化とASAM

- ▶ 二輪TOOL標準化メンバーとASAMは2016年会合を持ちました。
- ▶ ASAM Boardとして、このメンバーに参加している企業は2017年末まではASAMメンバーと同じように活動ができることとしました。
→ 過去のJAIG活動が模範となっています。
- ▶ ASAM AE領域の中で測定・適合・診断の部分を対象として活動を行っています。
- ▶ 2018年以降はメンバーとしての活動へ引き継がれていきます。

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

2つの標準化プロジェクト

- ▶ 2つの標準化プロジェクトにおいて日本のメンバーが参加して活動しています。
- ▶ ASAM MCD-2 MC V1.7.1
 - ・ プロジェクトタイプはStandard Development Projectです。
 - ・ ASAM MCD-2 MC V1.7.1標準をリリースすることがゴールです。
- ▶ HEX-file management
 - ・ プロジェクトタイプはConcept Projectです。
 - ・ 標準化のコンセプトをまとめたコンセプトペーパーを作成することがゴールです。
- ▶ 2017年から2018年1Q～2Qにかけて標準化活動を行います。
- ▶ ASAM MCD-2 MC V1.7.1はリリース後、Update Trainingの実施を予定しています。

ASAMの日本におけるアクティビティと今後の予定

まとめ

- ▶ 日本のメンバーによる提案によって、2017年から2018年にかけて多くの活動が予定されています。
- ▶ 今後もメンバーの提案によるアクティビティをグローバルに行います。
 - ・ Workgroup : Standard Study / Pilot Project
 - ・ 標準に関するトレーニング
 - ・ 現状の標準への改善提案からの標準化プロジェクト
 - ・ ユーザーの課題提示からの標準化プロジェクト